

ナント 2人に1人がメタボ判定。メンタルでは積極指導を必要とされる人が7%も。

障害のある人のための運転免許 第23回

東北震災支援プロジェクト活動報告

●メタボ判定とメンタル面の集計結果

希望者を中心に宮城県内4市の仮設住宅の実施結果です。

仮設住宅名		メタボ判定			保健指導区分		
		メタボ判定	予備軍	正常	積極支援	動機付支援	健康
石巻市開成住宅	回答数	20	7	24	5	2	44
	%	39.20%	13.70%	47.10%	9.80%	3.90%	86.30%
名取市美田園仮設住宅	回答数	6	8	13	1	0	26
	%	22.20%	29.60%	48.10%	3.70%	0.00%	96.30%
登米市南方仮設住宅	回答数	13	3	29	2	1	42
	%	28.90%	6.70%	64.40%	4.40%	2.20%	93.30%
気仙沼市運動公園住宅	回答数	8	4	22	4	1	29
	%	23.50%	11.80%	64.70%	11.80%	2.90%	85.30%
気仙沼市鹿折中学仮設住宅	回答数	11	7	25	2	5	36
	%	25.60%	16.30%	58.10%	4.70%	11.60%	83.70%
合計	回答数	58	29	113	14	9	177
	%	29.00%	14.50%	56.50%	7.00%	4.50%	88.50%

*詳しくはホームページからもご覧いただけます。http://www.for-dab.jp

特定非営利活動法人運転免許取得支援センター

特定非営利活動法人運転免許取得支援センターは、有識者や現場経験の相当年数を経た人を役員に、通常は障害者の自動車の運転免許取得支援や自動車、福祉作業所への支援、日常生活などの各種支援を行っている。

●平成24年度も実施します!

ボランティア参加ご希望の方はこちらへ

事業名：独立行政法人福祉医療機構地域連携活動支援事業「被災地の高齢者の生活支援」

場所：宮城県石巻市、東松島市、登米市での健康支援（検査の実施、健康相談など）

募集人員：2名

業務内容：スタッフのサポート（準備や書類記入、写真撮影など）

実施予定日：（前期）7月9日～11日、23日～25日、8月27日～29日ほか（後期日程はお問い合わせください。）*全日の参加でなくてもOKです。3日間でワンクルーです。

応募条件：大学生以上70歳以下の男女。健康状態が良好であること。中高年歓迎。

謝礼金：一日5000円、日当2000円。交通費実費支給。仙台までは高速バス又は東京からスタッフと一緒に車での移動になります。実施日の宿泊ホテルはご用意します。

連絡先：特定非営利活動法人運転免許取得支援センター（東京支所）

東京都墨田区金糸 1-2-1 アルカセントラル 14F-125

TEL.03-5699-1613

人事担当「みんなのわ」鈴木

E-mail: kamikawa@for-dab.jp

タイトルに「プロジェクト応募」と明記ください。

面談と事前オリエンテーションあり。

ホームページは http://www.for-dab.jp

特定非営利活動法人運転免許取得支援センター（以下、英語略称 JAPI）が、平成23年度独立行政法人福祉医療機構助成事業「東北震災被災地の高齢者の健康支援事業」では、予防医学の観点から東北震災被災地の仮設住宅に住む高齢者の健康チェックを行った。血液検査や胸囲・血圧測定、メンタル面のアンケートを200名に実施した。事業に関する利用者アンケートは、「大変満足」「満足」と答えた人が約98%。長時間待つことができない人や健康診断をする機会を持っていない高齢者から、「食生活に目を向けることができた」「自分の

身体の状態を初めて知ることができた」と好評だった。JAPIが事業結果として公表した表を見てわかる通り、検査対象の200名のうち、58%の高齢者がメタボリックシンドローム。例えば今までは自宅や近隣への散歩が出来ていたのに、仮設住宅に移ってからは運動量が減り、仮設住宅での食生活も高カロリーでバランスがとれていないなどが原因で、特にHbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）*が8.5%の人など、他の血液検査数値も合わせて、合併症がある恐れがあり、すぐに倒れて意識不明になっ

てもおかしくない状態の人が某市の仮設住宅の中では50名中3名、それに近い状態の人が2名もいたという。「私たちの団体では、仮設住宅の高齢者から『仮設住宅のお風呂の階段が怖くて登れない。2週間以上も入っていない』などの声を聞き、震災後すぐに予防医学の観点から、高齢者の日常生活の支援をスタートしました。長引く仮設住宅の暮らしの中で、今は自力で生活できる方々が要介護状態になってからでは遅い。ご自身の身体や心の状態を知っていただくことが大切です」と、JAPI代表の神川氏（介護福祉士）。同団体は、自

治体への協力体制の必要性を強く求めている。事業では諸々の検査だけではなく、研修を受けたスタッフが高齢者からいろいろな話を多い人では1時間以上、傾聴する。その中で介護保険の範囲ではないが、きちんと継続した支援が必要な人たちがいる。例えばメンタル面では「積極的指導（支援）」が必要とされる人が7.0%、「動機付支援」を必要とする人が4.5%。「躁鬱」では、境界領域の方が11.4%、抑うつ傾向にある方が4.4%（200人中132名回答）。「ストレス」では、「かなりの徹底したリラクゼーションが必要」とされる方が27.4%、専門家による診断・治療が必要な方が2.4%という結果（200人中124名回答）。

介護保険の適用対象でなくても、一人ひとりに対してきちんとした対応ができる、民間と連動した仕組みづくりが求められる。

【注釈】*HbA1c...高血糖状態が長期間続くと、血管内の余分なブドウ糖は体内の蛋白と結合します。赤血球の蛋白であるヘモグロビン（Hb）とブドウ糖が結合したものがグリコヘモグロビンです。このグリコヘモグロビンには何種類もあり、糖尿病と密接な関係があるのがHbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）です。正常値は、4.3～5.8%。日本糖尿病学会では、2012年4月1日よりHbA1cの表記を日常の診療において国際標準値（NGSP値）を使用することになり、6.5以上だと糖尿病が強く疑われます。糖尿病は多くの合併症を引き起こす可能性が高く、壊疽やその他高次脳機能障害などを引き起こす要因とも言われています。

日本糖尿病学会指標

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c (NGSP)%	6.2未満	6.2～6.8	6.9～7.3	7.4～8.3	8.4以上
HbA1c (JDS)%	5.8未満	5.8～6.4	6.5～6.9	7.0～7.9	8.0以上